乳房再建術を受けられる患者さんへ

病棟　　号室　　氏名：　　様

患者さんには、治療計画に基づいた医療を行います。　　説明日：

月日 / 項目	月　日( )	月　日( )	月　日( )	月　日( )	月　日（ ）～月　日（ ）	月　日( )～
	入院日～手術前々日	**手術前日**	**手術当日**	**術後1日目**	**術後2～3日目**	**4日目～**
目標	・手術の準備が出来る ・入院生活を安全におくることができる(転倒予防)		・術後の痛みがコントロールできる (鎮痛剤使用)	・経過に問題がなく、歩行できる ・リハビリが開始できる	・日常生活の注意点を知り、不明点を聞くことができる	
検査			・術後に胸部レントゲンを撮ることがあります		・わきの下の管がなければ2～3日目に退院です	**(退院)** ・わきの下の管が抜ければ翌日退院です
内服 点滴	・現在内服している薬を確認します	・夜眠れなければ、睡眠導入剤がでます	・点滴をします	・持参薬を再開します ・点滴終了後、点滴の針を抜きます ・抗生剤を3日間内服します		・必要に応じ退院薬が処方されます
治療 処置	・主治医診察 ・身長、体重測定 ・入院中は毎日検温をします (血圧、体温、脈拍測定)		・術前に血栓予防の弾性ストッキングを履きます ・看護師と一緒に手術室へ行きます <術後> ・創部をガーゼで保護します (わきの下に管が2本入ります) ・痛みに応じ鎮痛剤を投与します ・酸素吸入をします(術後3時間)	・創部の診察をします		・わきの下の管を抜きます ・創部のテープは自然に取れるまで貼っておいてかまいません
活動 安静度	・制限はありません		・ベッド上安静です ・適宜体位をかえます ・足に血栓予防の器械をつけることがあります	・看護師と共に歩いた後からは制限ありません ・足の器械をはずします **◎リハビリを開始します(手術した側は肘から先の運動にとどめます)**		
食事	・制限はありません	・麻酔科医師の指示に従ってください	・手術2時間前まで水分摂取可能です ・手術後は状態をみて水分を開始します	・朝より食事が再開されます		
清潔 排泄		・必要な人は手術部位の除毛をします ・シャワー浴をします	・術後は、尿の管が入っています	・体を拭いて着替えます (手術後2日目から下半身シャワー可能) ・尿の管を抜きます		・わきの下の管が抜けたら、翌日からシャワー浴ができます
説明 指導	・看護師：入院、術前オリエンテーションをします ・準備：前あきパジャマ、胸帯、下着、弾性ストッキング ・手術前日、麻酔医が訪室し診察と麻酔の説明をします		・主治医が術後の説明をします		・看護師より手術後の日常生活についての説明があります ・看護師から術後のリハビリについて、パンフレットを渡し、説明します ・次回外来の予約票を渡します ☆病理検査の結果は外来で説明します	
	☆何かわからないことがあれば医師や看護師に聞いてください					

◎入院時、この用紙をご持参ください

患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度、個別に説明いたします

東京女子医科大学附属 足立医療センター　2025年4月　第5版